

町民の皆さんへ

日ごろから、町政の運営にご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

はじめに、皆さんには、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、外出自粛や休業要請にご協力いただき、また、ワクチン接種におきましても、迅速に進めることができ、深く感謝申し上げます。本年度も強い危機感を持ちながら対策を講じてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力のほど、お願ひ申し上げます。

さて、本年度は、10年後に目指すまちの将来像、目標、取組を総合的にまとめた「新十津川町第6次総合計画」のスタートとなる大切な1年となります。



総合計画で定めたまちの将来像

「**新たな未来へ ともに歩もう つながる絆 かわらぬ自然と笑顔のまち**」
の実現に向け、次の6つの柱に基づき事業を執り進めてまいります。

1つ目は、『住みやすい暮らしがある』です。生活環境の充実、環境の保全に努め、住んでよかった、住んでみたいまちを目指し事業を展開します。

2つ目は、『笑顔がつづく健康がある』です。ライフスタイルに合わせた健康への取組を促進し、生活支援が必要な方には地域で支えあう地域共生社会の実現に向け取り組みます。

3つ目は、『活気あふれる産業がある』です。基幹産業の農業をはじめ、商工業の持続的な発展を推進するとともに、誘客に向け、ふるさと公園のリニューアル等を進め、地域経済の活性化と関係人口の創出に努めます。

4つ目は、『心やすらぐ備えがある』です。地域と連携し、総合防災訓練、パトロールなどにより、防災力、防犯体制等を高め、安心して暮らすことのできる環境を創出します。

5つ目は、『未来を叶える学びがある』です。デジタル技術の進展で、社会が変化する時代に、子どもたちが生きていくための資質を備えるとともに、私たち大人も生涯にわたり、学び続けられる環境を提供します。

6つ目は、『助け合う絆がある』です。コロナ禍に伴いコミュニティ活動も停滞していることから、地域を中心とした助け合い活動を促進するとともに、限られた財源で最大の効果が発揮できる安定的な財政運営に努めます。

本年度は、私にとって任期最後の1年となります。これまで同様、皆さまの声に耳を傾け、全力でまちづくりに邁進してまいります。

新庁舎は、利用しやすい窓口で皆さまをお迎えするだけでなく、皆さまにとっての憩いの場、集まりやすい空間となっておりますので、気軽にお出でいただき、町政に対するご意見をお聞かせいただければ幸いです。

令和4年4月

新十津川町長 熊田 義信